

わが町ヒーローインタビュー

陸上競技選手
(やり投げ)

村上幸史氏

「わがまちヒーローインタビュー」は郷土出身で全国的にご活躍されておられるヒーロー・ヒロインをクローズアップご紹介するコーナーです。今回は越智郡上島町生名島ご出身で、上島町名誉町民でもある「やり投げ世界大会メダリスト・日本選手権十二連覇中」の村上幸史氏にお話を伺いました。山口県山口市の山口維新百年記念公園陸上競技場で「第8回田島直人記念陸上競技大会」競技前のロッカールームに訪問させていただきました。これからの抱負やメッセージをお聴きしました。

日本全国民が大きな期待を寄せている村上選手。そのプレッシャーをどうはねのけているのか

青野 競技前の大事な時間にお話をさせていただく機会をいただき、ありがとうございます。まずは先日行われた福岡での西日本カール二バルでも見事優勝され、記録も自己3番目の記録(83m24cm)という事で、今絶好調の勢いですね。

村上 はい、ありがとうございます。今はとても調子がいいですね。

青野 そのような上り調子で実績を挙げられる村上選手に対して、愛媛県民はもちろん日本全国民が大きな期待を寄せていると思いますが、村上選手はそれをプレッシャーに感じたりはしていませんか。

村上 それはないですね。応援してくれているということは純粋に嬉しいですし、期待してくれているということが「村上はやってくれる」と信じてもらっていることだと思っていますので、自分としてはしっかり結果を出すということが役割なんだと、そういった事に集中しています。



やり投げをやっている以上、日本新記録は出したいですね。

大会や合宿で家をあけることも多いですが、家にいるときは家族とふれ合っています。

青野 なるほど。プレッシャーを逆にエネルギーに変えている村上選手だからこそ、今までのような素晴らしい成績を残している訳ですね。ところで、世界のトップアスリートの生活と比べ、私たちはあまり想像できないのですが、普段はどのような生活をされているのでしょうか。

村上 そうですね。やっぱり競技中心の生活になりますから、一番普段の生活でも気をつけている事は「けがをしない」ということですね。練習中はもちろんですが、普段の生活でもそういったことを気をつけていますね。

青野 競技中心の生活となるとなかなか家族とのふれあいなども難しいのでしょうか。

高校時代に先生の薦めもあって、陸上競技をするようになったんです。

青野 村上選手ご自身の子ども時代はどうだったのですか。

村上 小中学生の頃は野球をやっていました。高校に進学しても普通に野球をやるんだらうなと思っていましたが、先生の薦めもあって、陸上競技をするようになったんです。

青野 なんと球速が150キロを超えていたとお聴きました。そのまま野球を続けていれば、プロ野球からの誘いもあったのではないかと思います。陸上競技ではやり投げの他に...

【今治冠婚葬祭互助会】 青野 淳一



にも円盤投げやリレーもやっておられたんです。

村上 やり投げはもちろんですが、円盤投げもやっています。走るのも好きです。スポーツは何でもやっていると楽しいですよ。

青野 普段は東京のほうにお住まいだと思いますが、愛媛の方にも帰ってこられることはありますか？

村上 愛媛には実家がありますから、年に5回くらいは帰省していますね。あと、母校の今治明徳高校で練習する事も多いので、実家の生名島よりも、もしかしたら今治に行く機会の方が多いかもしれません。

青野 郷土の誇りとして子どもたちからも憧れとして目標とされることもあると思いますが、そんな子どもたちに贈るメッセージはありますか？



山口維新百年記念公園陸上競技場にて。競技前に健闘を祈って、がっちり握手。

子ども達にも決して夢をあきらめないで純粋に素直にがんばってほしい。

村上 イベント等で子どもたちと触れ合う機会は非常に多くあります。そういう機会があれば私も積極的に参加しようと思っていますが、子どもたちって、本当に純粋だと思うんです。瞳を見ていても純粋さというものが伝わってきますし、そういったものは「可能性」につながってくると思います。ですから、子どもたちには、今の「子ども心」を忘れずに、純粋にがんばってほしいなと思います。そしてもう一つ、「夢」を持ち続けてほしいなとも思っています。私自身も、まさか自分がこういう選手になるとは思ってもいなかったのですが、ただ、そういった「夢」というものは持っていましたね。ですから今の子どもたちにも決して夢をあきらめないで、純粋に素直にがんばってほしいなと思いますね。

青野 村上選手は現在の記録が83m53cmということですが、村上選手の夢と言いますか、記録の目標としては、ご自身ではどのくらいまで伸ばしていきたいと思っていますか？

村上 そうですね。やり投げをやっている以上、日本新記録は出したいですね。(※日本記録は1989年に溝口和洋選手が記録した87m60cm。村上選手はそれに続く日本歴代2位の記録保持者です。)

青野 村上選手にはぜひ日本記録を塗り替えていただき、ロンドンオリンピックでも良い色のメダルを取っていただくよう応援しています。子どもたちに、そして郷土の私たち一人一人に夢と勇気を与えてくれる村上選手の今後益々のご活躍を期待しています。本日はお忙しい中、本当にありがとうございます。

村上 こちらこそ、ありがとうございます。

※インタビュー中に当日の競技会の抱負をお訊きしたところ、「大会記録を出して優勝」とお話しされ、そして結果その通り大会新記録で当競技会の5連覇を成し遂げました。有言実行されておられる村上選手を本当に頼もしく思うと同時に日本新記録を出す日もそう遠くはないのではと実感しました。(青野)



PROFILE

村上 幸史

むらかみ ゆきふみ/1979年12月23日生まれ。愛媛県越智郡生名村(現同郡上島町)出身。所属:生名中→今治明徳高→日大→スズキ→スズキ浜松AC。身長187cm。体重97kg。血液型AB型。アテネオリンピック・北京オリンピック日本代表。